



浄恩寺同朋会報

浄恩寺 雅楽葬 検索

電話 052-881-8474

「永代経法要」をお勤めします。
五月三日（水） 憲法記念日

「永代経法要」の流れ

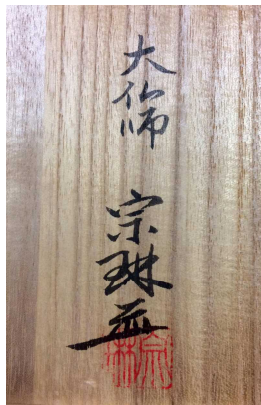
- 9:45 集合 焼香して下さい。
納骨者は、骨箱を本堂へ
- 10:00 お経「仏説無量寿経」
※法事でおなじみの大経を読みます。
- 10:50 法話 荒山 淳師
荒山 淳さんにお越し頂くのは久しぶり。全国各地に出かけられる機会が多く、広い視野での話題が楽しみです。
- 12:00 おとき 本堂二階で昼食
納骨者は、骨箱を本堂へ
- 13:30 お経 「仏説阿弥陀経」
「正信偈」
※一緒にお経を読みましょう。
- 14:10 法話 荒山 淳師
- 15:00 法要終了

孟蘭盆会の時と同様に、納骨堂にお骨を納めてみる方は、お経が始まる前にお越し頂きまして、納骨堂より骨箱を本堂の御本尊前にご安置して下さいます。二階納骨堂へ上がるのが大変な方は、お手伝いの方々に申し出下さい。お手伝いの方は、真宗門徒にとつて、最も大切な行（修行）は、「聞法」です。素直に「人の言葉」に深く耳を傾けるといのは、日頃はできそうで難しいことです。そんな時間をこの法要で過ごしていただけたら幸いです。

「仏壇」の処分でお出会う

昨年、ある仏具店からの依頼で、仏壇処分のお勤めを依頼されました。伺ってみると、そこは「うどん屋さん」でした。古い町並みが少し残る、雰囲気の良い場所にあり、亡くなられた主人は、とても頑固で、信心深い方だったと、依頼人の息子さんから聞きました。仏壇は大きく立派なものでした。その仏壇に立っておられたのが、画像の御本尊。一目で立派なものとお勤めした。お勤め後、御本尊だけでも継承されることをお

すすめ致しましたが、処分の意志が固かったため、この御本尊とお経機と仏壇内上机を譲り受けました。半年ほど経ち、この御本尊の作者について思い立ちネット検索してみました。「大仏師 宗琳」で検索すると、「松久宗琳」の名前がたくさんヒットしました。大正十五年（平成四年）有名寺院に作品を残す昭和有名彫刻家であるとわかりました。半信半疑で、仏像を紹介販売しているギャラリーに画像を送り、鑑定を依頼するとすぐに所見が届きました。「おそらく松久宗琳の作品だと思われます。大切にしてください。」とのことでした。寺宝として大切に保管しようと思えます。



春スキーに行きました

三月中旬の友引の日、岐阜県白鳥のウイングヒルズ。天気は晴で、雪が降り、最高気温は10度前後。雪の状態は軽快で滑りやすかったです。午前中は雪が降り、午後には雪が止み、気温も上がり、滑りやすくなりました。昼食も取り、夕方まで滑りました。五時間滑って帰りました。休日を思う存分楽しみました。

